

表紙・目次等

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	ラオス：一党支配体制下の市場経済化
発行年	2005
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00011974

IDE-JETRO
研究双書
No.545

ラオス 一党支配体制下の市場経済化

天川直子・山田紀彦編

アジア経済研究所

研究双書 No. 545

天川直子・山田紀彦編『ラオス 一党支配体制下の市場経済化』

Raosu: Ittō-shihai-taiseika no Shijō-keizaika

(Laos: Transformation to the Market Economy under a Single-Party Regime)

Edited by

Naoko AMAKAWA and Norihiko YAMADA

Contents

- Chapter 1 Recent Discussion on the Lao P.D.R.: Transformation to the Market Economy under a Single-Party Regime (Naoko AMAKAWA)
- Chapter 2 Legitimacy of the Lao People's Revolutionary Party's Rule under the Transition to Market Economy: Tracing Changes of Arguments in the Political and Theoretical Magazine *Alunmai* (Norihiko YAMADA)
- Chapter 3 An Analysis of Line Ministry Management in the Political System Reform of the Lao P.D.R.: A Case Study of Personnel Management in the Vientiane Provincial Office of the Ministry of Finance (Hiroyuki SETO)
- Chapter 4 An Econometric Analysis of the Lao Economy: Simulations Using a Macroeconomic Model (Phouphet Kyophilavong and Toshihisa TOYODA)
- Chapter 5 Savings and Assets of Urban Households in the Lao P.D.R. (Toshihisa TOYODA and Phouphet Kyophilavong)
- Chapter 6 Privatization in the Transition to Market Economy: The Case of the Military-operated "Mountainous Region Development Company" (BPKP) (Souknilanh Keola and Motoyoshi SUZUKI)
- Chapter 7 Foreign Direct Investment in the Lao P.D.R.: Analyzed in Terms of Entry and Divestment (Motoyoshi SUZUKI and Souknilanh Keola)

[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 545]

Published by the Institute of Developing Economies, JETRO, 2005

3-2-2, Wakaba, Mihama-ku, Chiba-shi, Chiba 261-8545, Japan

目 次

まえがき

第1章 現代ラオスの課題

——一党支配体制下の市場経済化——	天川直子	3
はじめに		3
第1節 体制移行をめぐる諸問題		3
第2節 ラオスの体制移行過程		7
第3節 経済開発をめぐる諸問題		11
第4節 ラオスの経済開発		16
おわりに		21

第2章 市場経済移行下のラオス人民革命党支配の正当性

——党政治・理論誌『アルン・マイ』における議論の 変遷を中心に——	山田紀彦	27
はじめに		27
第1節 チンタナカーン・マイ政策開始までの道のり		29
第2節 チンタナカーン・マイ政策開始から第5回党大会まで		35
第3節 第5回党大会からアジア通貨危機まで		41
第4節 アジア通貨危機から第7回党大会まで		50
第5節 第7回党大会とイデオロギーへの回帰		55
おわりに		58

第3章	ラオスの政治制度改革における部門別管理体制に関する一考察 ——ヴィエンチャン県財務部の人事管理を事例に——	瀬戸裕之	71
	はじめに		71
第1節	ラオスの政治制度改革における部門別管理体制の基本構造		73
第2節	財務省における県財務部に対する人事管理		88
第3節	ヴィエンチャン県財務部における人事管理体制		95
	結論		103
第4章	ラオス経済の計量モデル分析 —— LAOMACROMODEL-2の開発とシミュレーション—— ……キオフィラフォン・プーベット／豊田利久		115
	はじめに		115
第1節	ラオス経済のモデル・ビルディング		118
第2節	マクロ・モデルによる財政・金融政策の評価		131
第3節	マクロ・モデルによるODA効果の分析		139
	むすび		146
第5章	ラオス都市部における貯蓄・資産の実態調査 ……豊田利久／キオフィラフォン・プーベット		155
	はじめに		155
第1節	調査の概要		157
第2節	貯蓄と資産の実態		161
第3節	家計貯蓄行動の分析		167
	おわりに		174
第6章	国有企業改革からみた市場経済化 ——軍営企業・山岳部開発会社（BPKP）の場合—— ……ケオラ・スックニラン／鈴木基義		181

はじめに	181
第1節 ラオスにおける国有企業の沿革	184
第2節 軍営企業による農村開発の可能性について	197
おわりに	209
第7章 進出と撤退からみるラオス外国直接投資	
.....鈴木基義／ケオラ・スックニラン.....	217
はじめに	217
第1節 対ラオス外国直接投資の現状（1988年～2004年）.....	219
第2節 ラオス法整備の状況	222
第3節 ラオス進出外国企業に対する投資環境聞き取り調査	227
第4節 撤退理由に関する考察	234
第5節 ラオス投資環境の優位性と劣位性	
——地域補完型労働集約的部品産業の誘致——	244
おわりに——変貌するインドシナ地域——	256

ラオス 一党支配体制下の市場経済化

あまかわ なおこ
天川 直子 (アジア経済研究所地域研究センター東南アジアⅡ研究
グループ長)

やまだ のりひこ
山田 紀彦 (アジア経済研究所在ヴァイエンチャン海外派遣員)

せと ひろゆき
瀬戸 裕之 (愛知淑徳大学非常勤講師)

きおふいらふおんぶーべつと
キオフィラフォン・プーペット (ラオス国立大学経済経営学
部専任講師)

とよだ としひさ
豊田 利久 (神戸大学名誉教授, 広島修道大学経済科学部教授)

けおら すくにならん
ケオラ・スックニラン (愛知学院大学国際研究センター研究員,
東京外国語大学非常勤講師)

すずき もとよし
鈴木 基義 (鈴鹿国際大学国際学部教授)

—執筆順—

ラオス 一党支配体制下の市場経済化 研究双書No.545

2005年9月26日発行©

定価 [本体3000円 + 税]

編者 天川直子・山田紀彦

発行所 アジア経済研究所
独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 〒261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail syuppan@ide.go.jp

http://www.ide.go.jp

印刷所 日本ハイコム株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

無断転載を禁ず

ISBN4-258-04545-4

「研究双書」シリーズ

(提示した価格は税込み価格です)

532	アジアの金型・工作機械産業 ローカライズド・グローバリズム下のビジネス・デザイン 水野順子編 2003年 278p. 3150円	価格競争力を喪失した日本の金型・工作機械について、日本を含むアジアの比較優位と劣位を分析し、日本がアジアにおいて生き残るためのビジネスをデザインして提示する。
533	インドネシアの地方分権化 分権化をめぐる中央・地方のダイナミクスとリアリティー 松井和久編 2003年 284p. 3360円	地方分権化がインドネシアに暗雲を漂わせている。分権化をめぐる中央と地方がせめぎあう現場では、いま何が起り、また起きようとしているのか。綿密な現地調査をもとに、地方分権化で揺れるインドネシアの現状を徹底解明する。
534	国家・暴力・政治 アジア・アフリカの紛争をめぐって 武内進一編 2003年 510p. 5460円	ネーションステイト、暴力、紛争抑止などをテーマとする12の事例研究と理論的総説をもって、アジア、中東、アフリカで頻発する武力紛争を多角的に分析する。紛争研究の新たな地平を切り開く労作。
535	金融政策レジームと通貨危機 開発途上国の経験と課題 三尾寿幸編 2003年 324p. 3885円	金融政策と為替レート制度からなる「金融政策レジーム」の視点から、90年代以降の開発途上国における通貨危機やインフレーションを分析する。
536	金融グローバル化と途上国 国宗浩三・久保公二編 2004年 370p. 4305円	金融のグローバル化とはいかなる現象か、そうした現象が途上国経済に及ぼす影響は。マクロとミクロ双方の視点から近年の途上国金融問題を考察する。
537	インドネシアの経済再編 構造・制度・アクター 佐藤百合編 2004年 444p. 4935円	通貨危機と権威主義体制の崩壊を受けて混迷するインドネシア。経済の市場化、民主化に向けた「制度改革の実験」はどこまで成功したのか。再編期を読み解くインドネシア経済論。
538	ファミリービジネスの経営と革新 アジアとラテンアメリカ 星野妙子編 2004年 423p. 4725円	度重なる経済危機と激しさを増す国際競争のもと、生き残りを模索するアジアとラテンアメリカの巨大ファミリービジネスの最新の姿を明らかにする。
539	カンボジア新時代 天川直子編 2004年 445p. 5040円	1993年の新生カンボジアの誕生から既に10年。国際関係と国内政治経済体制の劇的な変化の下で、カンボジア人々の暮らしはいかに変わりつつあるのか。詳細な現地報告。
540	国際経済参入期のベトナム 石田暁恵・五島文雄編 2004年 472p. 5250円	WTO加盟をめざして国際経済への参入を深化させつつあるベトナム。市場経済化、行政改革、国際開発協力の現段階と立ち向かうべき課題を論じた地域研究報告。
541	アジアにおける環境政策と社会変動 産業化・民主化・グローバル化 寺尾忠能・大塚健司編 2005年 388p. 4410円	アジアの環境政策と社会変動について、直接規制と経済的手段、情報公開と参加、環境紛争、技術開発、国際協力、国際協調等具体的な政策過程の事例研究を踏まえて検討する。
542	エジプトの開発戦略とFTA政策 山田俊一編 2005年 302p. 3360円	60年代にアラブ社会主義の盟主であったエジプトが、今、EUやアメリカとのFTAに邁進。その背景を開発・貿易政策、内政、アラブ地域協力、EU・地中海連合協定から分析。
543	アフリカ経済実証分析 平野克己編 2005年 360p. 4200円	日本におけるアフリカ経済研究のフロンティア。経済学者とアフリカ学者の共同プロジェクトの成果で、地域研究の手法を踏まえつつ計量実証分析に挑んだ。
544	ポスト・エドサ期のフィリピン 川中 豪編 2005年 246p. 2940円	アジアにおける民主化のさきがけであったフィリピン。その民主化後の約20年はどう評価されるだろうか。民主主義の定着と自由主義的経済改革の相互関係を軸に読み解く。